



平成29年10月1日  
市議会議員 坂澤博光

平成29年第3回各務原市議会が9月1日(金)から9月27日(木)まで開催されましたので、その概要について報告します。

### 1 平成28年度一般会計決算

1年間の収入は、約507億円、支出は約479億円で、翌年度に繰り越す額を控除すると約26億円の黒字となりました。

本市は、人口減少、少子高齢化に前向きに対応し地方創生を推進するため、「しあわせ実感かかみはら総合戦略」を掲げ、市民の皆さんと対話しながら総合計画に掲げた分野に積極的に取り組んでいます。

### 2 参考情報

- (1) イオンモール各務原店内に移住定住総合窓口を設け、移住定住に関する情報を発信し、様々な相談に対応しています。
- (2) 高止まりの有効求人倍率に対応するため、企業人材全力応援室を設置し、大学との連携や人材採用を支援するなどの人材確保策を推進しています。
- (3) 一人ひとりの状態に合わせた介護予防や生活支援を推進するため、介護予防・日常生活支援総合事業が始まりました。

### 3 スパークの一般質問

#### (1) 本市の単独補助金の状況について

問：市単独補助金の状況は

答：平成28年度には4,431万円増えていますが、集会施設建設事業への補助金や新加納土地区画整理事業への補助金が1,600万円増加したことによるものです。

問：市単独補助金の根拠や申請手続き、実施報告はどのようにしているか。

答：市では「各務原市補助金交付規則」第3条に基づき、補助事業者に対して「公益上特に必要があると認められる場合に限り」補助金を交付することができます。

同規則に基づき、補助金の申請をする人は、補助事業の目的、内容、経費及び財源計画等を記載した申請書を市に提出します。

市では申請書が、補助金の交付が適切であるか否かを審査し決定します。

補助事業者は、法令、条例及び規則などに従い当該事業をします。

補助事業が完了した後に、補助事業の目的、内容、効果及び収支報告書を提出します。

(2) 本市の救急体制について

問：本市の救急体制の概要は。

答：7つの消防署に高規格消防車を1台と車検用の予備として1台配置しています。

問：救急車の活動状況は。

答：出動件数は、年間、5,855件で前年度より174件増加しています。119番通がされてから救急車が現場に着くまでの平均時間は約7分です。

午前7時から午後1時の時間帯が多く、深夜1時から4時頃は少なくなっています。

救急搬送の種別としては急病が一番多く61%、次いで一般負傷の15%、交通事故の12%となっています。

年齢別では、高齢者が59%で最も多く、次いで成人の31%となっています。

問：救急救命士の現状と養成状況は。

答：救急救命士有資格者は38名で、救急車に乗車して現場に急行し、傷病者に救命処置をすることができます。

心肺停止の場合、医師の直接指示のもとチューブを用いた気道確保、点滴処置、心臓の動きを基に戻すための薬剤投与などを行うことができます。

救急救命士になるには、5年間以上の消防職員としての実務経験を経た後、救急救命士の養成所へ6ヶ月入所し、国家試験に合格して資格取得します。

その後、病院における薬剤投与、点滴処置、チューブを用いた気道確保などの成功例を経験し修了実習(テスト)を経て、医師の認定を受けることが必要です。

2年間で128時間の日常的な教育を医師から受けることが義務づけられています。

今年度は、1名の職員を救急救命士養成研修所に派遣しています。

問：救急要請の現状と課題は。

答：救急要請された方で41%の方は入院が必要ではない方ですが、119番の通報内容から、救急要請が不適切か否かを判断することはなかなか難しいと考えています。

救急要請の増加が予測されるなか、不適切利用を軽減する取り組みも必要と考えます。その一つとして、傷病者自身が緊急度を判定することを支援し、利用できる医療機関や受診手段の情報を提供するスマホ向けアプリがあります。

子どもの急病やケガの対処、判断に迷った場合、#8000で小児科医師・看護師が電話で応対する「小児救急電話相談」などを普及啓発していきます。

## 第19回市政報告会

とき：平成29年10月28日(土) 13時30分から1時間半

ところ：雄飛ヶ丘公民館(那加雄飛ヶ丘町12-15)

連絡先：各務原市那加昭南町 97-1-201 坂澤博光

電話&FAX：058-371-1270 携帯電話：090-7026-9861

Eメール：hir\_skzw@d1.dion.ne.jp